

## 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立玉島高等学校		
実践者等	平松 孝博	実践日	令和3年5月28日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	外国語 コミュニケーション英語Ⅰ SL		
対象生徒(学年等)	1年2組		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	SpeakUp Now! Lesson3		
使用したアプリ等	ブラウザ、Jamboard、Document、Classroom、Dongri		
実践の概要(ねらい等)	本来であれば、口頭で行う発音練習や英語でのやり取りを、Jamboard や Document 等の Google Workspace を使うことでコロナ禍でも止めない。 Classroom を使うことで、英作文の回収、返却を効率化する。		
実践の内容			
<p>(1) 教科書本文のリスニング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Chromebook とプロジェクターで音声を再生し、教材を提示する。</li> </ul> <p>(2) 教科書本文のタイピング(空欄補充)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文の音読をする代わりに、Document に入力させる。リスニングで聞き取った空欄に当てはまる単語も、入力することでリスニングの理解度を把握させる。</li> </ul> <p>(3) 中学校に関する英語の質問に英語で答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒 10 人ずつのグループになり、Jamboard に書かれている質問に、英語で自由に答えさせる。</li> <li>・ その際過去形を使用し、他人が読みたくなるような書き込みをするように指導する。</li> <li>・ わからない単語は各自 Dongri で調べて答えさせる。</li> </ul> <p>(4) 中学校時代に関して、エッセイを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Classroom の課題で配布された Document に、10 分間の制限時間内になるべく多く英語で入力させる。</li> <li>・ 前回の活動で質問の答えが Document に保存されており、ヒントになっているため、全ての生徒がある程度書くことができる。</li> <li>・ Classroom で英作文を提出させ、評価する。</li> </ul>			
参考となる HP 等			

